

住民主体の人口戦略づくりを応援します！

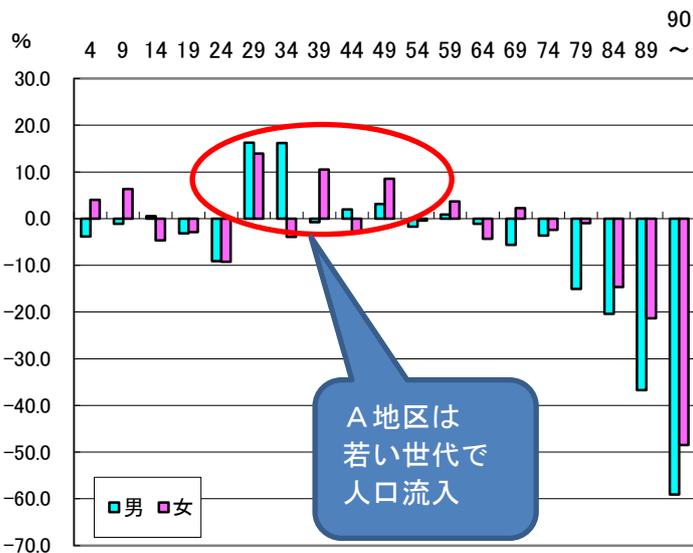
住民の問題意識を変えるには、集落や地区レベルの規模の人口推計が有効です。

例えば、某県某市のA地区とB地区を見てみましょう。

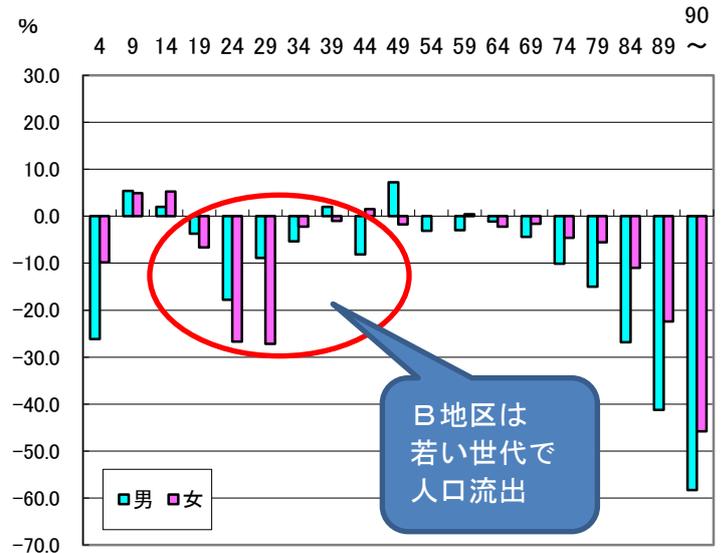
現在は人口規模が同じくらいですが、人口の流出入の状況によって

将来の姿がこんなにも違ってきます！

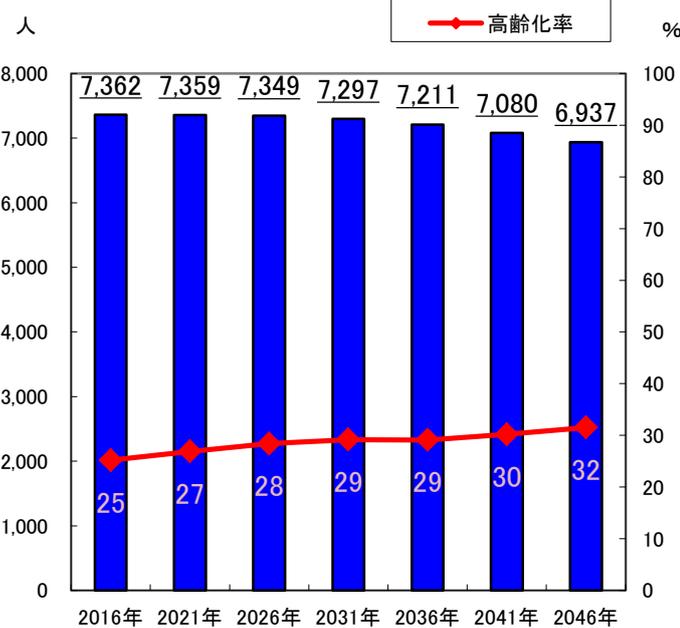
コーホート変化率（A地区）



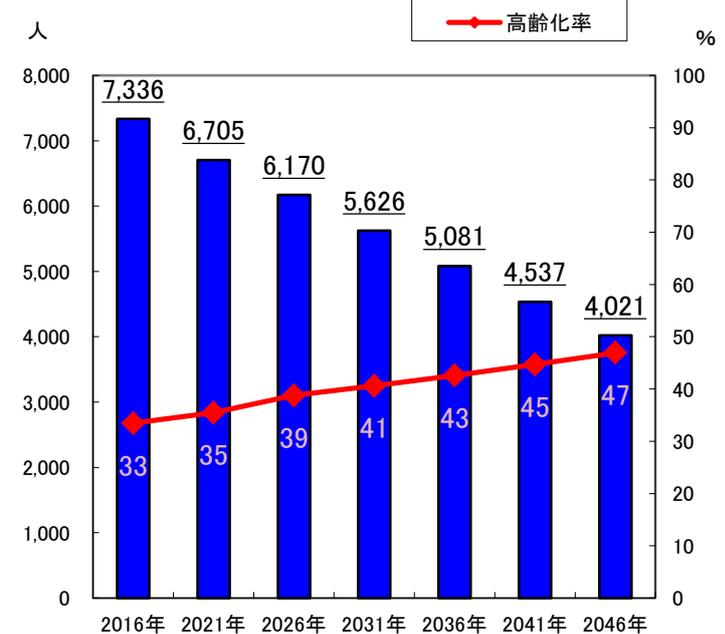
コーホート変化率（B地区）



今後の人口予測（A地区）



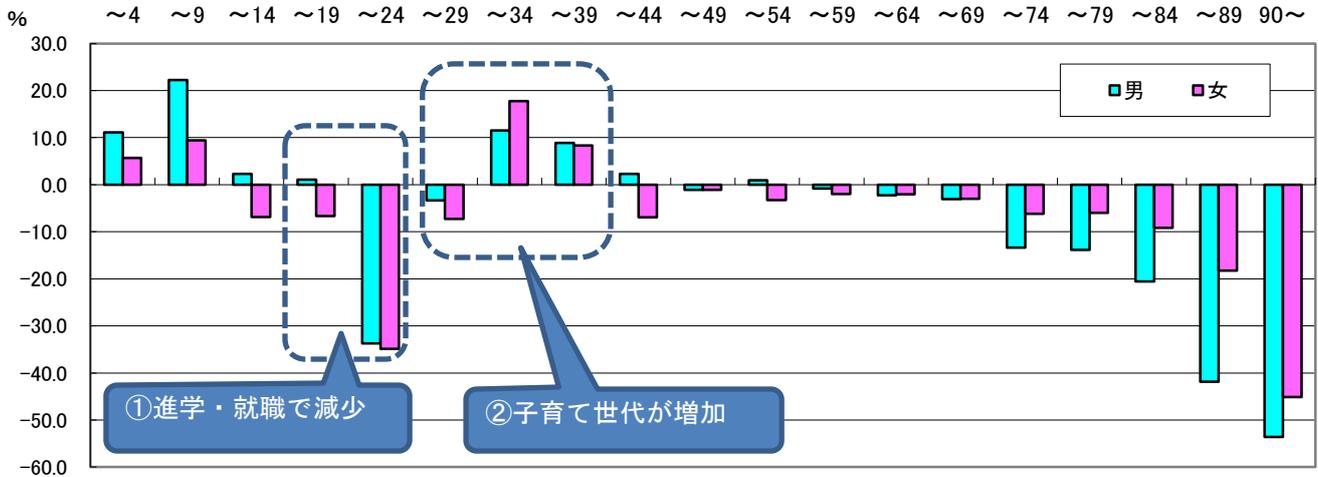
今後の人口予測（B地区）



人口流出が進むB地区では30年後に人口が半減し、高齢化率も上昇しますが、若い世代の人口流入が見られるA地区では同規模の人口が維持できています。

同じ県の別の町のC地区（人口 3,467 人）では、進学・就職のタイミングで 10 代後半から 20 代前半の人口が 20%減少しますが、子育て世代で 5%増加しています。

コーホート変化率（C地区）

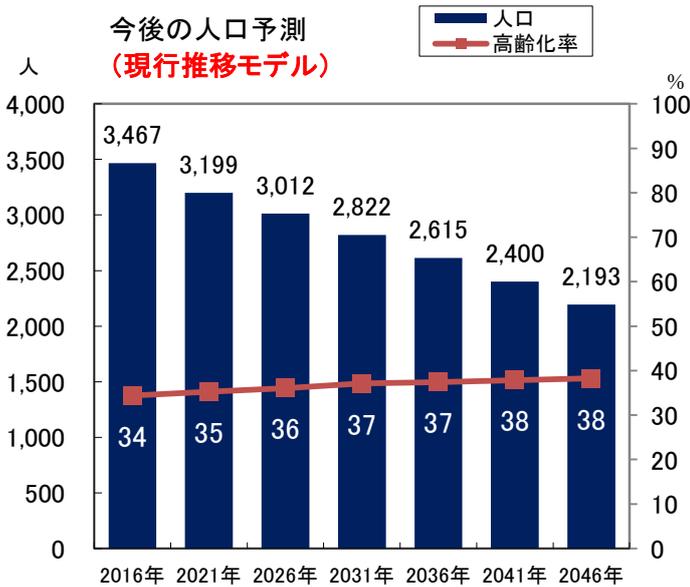


ただし、①、②の世代にターゲットを絞って施策展開し、次の目標を実現することにより、将来の姿は大きく変わってきます。

- ①進学・就職世代の人口流出を現在の半分に抑制（毎年 7 人程度の減少に食い止め）
- ②子育て世代の U・I ターンをさらに毎年 3 人（親子 1 組）増加

今後の人口予測
（現行推移モデル）

今後の人口予測
（①②実現シミュレーション）



小・中学生人口の将来予測
（現行推移モデル）

小・中学生人口の将来予測
（①②実現シミュレーション）

